

## 横浜型地域貢献企業プロモーション動画『横浜環境保全株式会社』

### 【横浜環境保全株式会社 代表取締役 高橋 義和さん】

・当社は未来そして子供たちのために、環境保全事業を通して地域社会に最も貢献するという企業ミッションのもとに、横浜市を中心に廃棄物処理・リサイクルをしている会社です。

### 「地域貢献企業として」

・当社では地域社会に貢献するという企業ミッションがありますから、それがまさにこの横浜型地域貢献企業にマッチしていきまして、何としてもこれを取ろうということで、10年前に最上位認定をいただいています。  
・3年前に、プレミアム認証というのが始まりましたという社員の報告があり、何としても挑戦しよう、というのが今回プレミアム認証に取り組んだきっかけです。

### 「CSR活動の取組」

・元々私どもは横浜市を中心に一般廃棄物をメインとした廃棄物処理を行っています。  
・その中で出てくる食品残渣（ざんさ）をリサイクルして”ハマのありが堆肥”という神奈川県のリサイクル製品認定も受けている有機肥料を製造しています。  
・これを農家さんに使っていただいて、出来た野菜を排出事業者であるレストランで使っていただく。このループにずっと取り組んでいました。  
・大手チェーン展開されてる居酒屋さんですとか牛丼屋さん等でやっていたんですが、これを横浜市内でやろうじゃないかということで、横浜ビールさんと”道志村ひやくしょう会”さんと組んで、”フードループ”という取組を始めました。

### 「活動を通して良かった事」

・この取組を続けてから、家族にも知らせたいという声が社員から上がりまして、”道志村ひやくしょう会”さんで作った有機野菜の社内販売を始めました。  
・新鮮な野菜や、珍しい野菜も入ってきます。”道志村ひやくしょう会”さんに作っていただいているレシピとともに家にお持ち帰りいただいて、社員のご家族にも、当社がどういう仕事をしていて、自分のお父さんがどういう活動をしていて、どう社会の役に立っているか、地球環境の健康にどれだけ寄与しているか、そういったことを家族にも分かってもらえる。  
そのような取組が社員から出てきたというのは非常に嬉しく思っています。

### 「活動に参加して」

#### 【横浜環境保全株式会社 総務部 村山 浩平さん】

・私は”フードループ”の社内販売を主に担当しています。  
・”道志村ひやくしょう会”の担当者さんと私とで調整し社内販売の企画を運営しています。  
・第7回目を迎えていますが、今のところ全種類・全野菜が完売しています。  
・”道志村ひやくしょう会”の方も野菜を売ることに非常に喜んでくれたり、当社の従業員のみならず家族の方が喜んでますよっていう感想をアンケートでいただいております。  
・自分のお父さんお母さんが働いている会社で作った堆肥、それでできた野菜を家庭に持ち帰って家族が食べる。  
・皆が笑顔になって、更に健康にも良い野菜で体も丈夫になる。  
・この取組が非常に広がってきてもう7回目を迎えているので、今後もどんどん進め、色々な野菜・旬の野菜を取り入れながらやっていきたいなと思っています。

#### 【横浜環境保全株式会社 金沢事業所 小林 大二さん】

・私は直接現場で堆肥の製造をやっております。  
・当然生ものですし、臭いも出たりします。

- ・実際に堆肥の製造に関しては、都市部で取り組んでいるのが弊社ぐらいしかないんです。
- ・やっぱり近隣の皆様の御迷惑にならないように、臭いに気をつけて製造しています。
- ・製造された堆肥が、”道志村ひやくしょう会”さんや、その他色々な方に使っていただき、「良い野菜ができたよ」と言っていただけののが非常に喜びと感じております。

#### 「地域貢献のメリット」

【横浜環境保全株式会社 代表取締役 高橋 義和さん】

- ・あまり大きなことを言っても生意気かもしれない。大変恐縮なんですけれども。
- ・やはり社員のモチベーション若しくは社会的意義について、非常に影響があるのかなと思っています。
- ・当社では、ミッションの中に”社会そして子供たちに誇れる会社にしよう”というのがあるんです。
- ・これは、うちで働いてくれている社員の皆さんが自分の子供たちもしくは奥さんに、「お父さんこんな凄いことしてんだぞ」って言ってもらえるような会社にしていこうよ、というミッションに繋がっているんです。
- ・やはりこういった取組を続けることで、御家族からも誇りに思ってもらえる。色々な意味で、誇り・思い、そういうところに繋がってくるんじゃないかと思っています。